

災害発生時、早めに避難しましょう

避難場所・経路の確認を

自然災害が発生したときは、みずからの判断で避難行動をとることが原則です。市は、災害が発生する危険性が高まった場合に、起こりうる災害種別に対応した区域を示して避難指示などを発令します。ふだんから、避難するときに必要なことを家族や地域で確認し、いざというときの行動について考えておきましょう。



避難所などの場所はこちら

確認1 生活の場にどのような危険があるのか

- 市が作成しているハザードマップを見て、自宅や学校、職場などのよく立ち入る場所について、河川が氾濫した場合に何メートル浸水するか、土砂災害が起こりやすい場所ではないかなど、どのような危険があるのかを確認しましょう。
- 市指定の避難場所を確認し、そこまでの経路や移動手段を計画しておきましょう。市指定の避難所は市ホームページで、地域防災計画は「おおさか防災ネット」の吹田市のページで確認できます。

ハザードマップが新しくなりました

最新の情報を踏まえ想定最大規模の洪水・高潮のハザードマップを作成しました。市ホームページで確認できます。



ハザードマップはこちら

確認2 市から発令される避難情報について

市から発令される避難情報と市民がとるべき行動

警戒レベル		避難行動など
5	「緊急安全確保」	災害が間もなく発生するか、すでに発生している状況です。緊急安全確保が発令される前に、必ず 全員避難 を完了するように心がけてください。
4	「避難指示」	「避難指示」が発令されるときは災害の発生が差し迫り、避難ができるぎりぎりの状況です。対象区域にいる人は、危険な場所から 全員避難 しましょう。
3	「高齢者等避難」	避難に時間のかかる高齢者や障がいのある人は、危険な場所から避難しましょう。それ以外の人も、危険を感じたら自主的に避難をしましょう。
2	「注意報」 (気象庁が発令)	<p>⚠️ 警戒レベル4までに必ず避難</p> <p>緊急的な対応について事前に備えておきましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 大雨で避難が必要だが、避難場所までの移動が危険と思われる場合 ⇒自宅近くの、より安全と思われる建物(最上階が浸水しない建物、川沿いでない建物など)に移動する。 ● 外出すらし危険な場合(あふれた水が道路を流れている場合など) ⇒自宅建物内の、より安全と思われる部屋(上層階の部屋など)に移動する。
1	「早期注意情報」 (気象庁が発令)	

確認3 避難情報を迅速に入手できるように備える

- 災害情報の入手方法(市ホームページ、防災無線、防災アプリなど)を確認しましょう。

携帯電話やスマートフォンから

インターネットやSNS、防災アプリなどから情報入手できます。

- LINEで「吹田市」を友だち登録し、受信したい情報で「防災」を選ぶと情報が届きます。
- 大阪府防災情報メールに登録して地域を選択すると、メールで気象情報や災害情報が受け取れます。



市公式LINEアカウント



府防災情報メール

テレビから

リモコンのdボタンを押すと地域ごとの災害情報が入手できます。

「災害情報自動配信サービス」に登録し固定電話やファックスでも入手

洪水・土砂災害が発生するおそれがあるときの避難情報などを固定電話、ファックスのいずれかに配信します。緊急地震速報は配信されません。受信時の通話料などは無料。折り返し電話をしたときは有料です。申し込み方法など詳しくは危機管理室へ。



梅雨・台風の季節を前に

しっかり備えて早めに避難



梅雨や台風に向けて、水害対策を日頃から準備しておきましょう。

☎危機管理室(☎6384・1753☎6337・1631)

非常時に備えましょう

非常持ち出し品・非常備蓄品の準備を

台風の接近が分かってから慌てて食品などを買ひ込もうとすると、駆け込み需要で店内が混雑している可能性が高いうえ、必要な物が売り切れで買えないこともありえます。日頃から準備をして、さまざまな災害に備えておきましょう。

準備OK? 今すぐチェック

非常持ち出し品

すぐに取り出せる場所に用意しておくもの。

- 飲料水
- 懐中電灯
- 携帯充電器
- 軍手、ホイッスル、ヘルメット
- 携帯トイレ、ポリ袋、カイロ

トイレは災害時も我慢できません。1人1日5回分は確保しましょう。

非常備蓄品

ライフラインが止まった場合などに必要なもの。

- 3～7日分の非常食・飲料水
- 簡易トイレ
- 毛布、タオル、ウェットティッシュ
- 水タンク、使い捨ての皿・コップ
- カセットコンロ、ガスボンベ

備蓄品をおいしく食べるための必需品。ガスボンベは多めに(15～20本程度)確保しましょう。

感染症対策も忘れずに! マスク 消毒液 体温計

準備のポイント

- 各家庭に必要なものは異なります。避難生活をイメージしてチェックしましょう。
例)乳幼児がいる家庭：ミルクやおむつ
ペットがいる家庭：ペットの餌や生活用品
薬を服用中の人：薬と、お薬手帳を忘れずに
- 最低3日分の食料を。可能であれば7日分を備蓄しましょう。
- 半年に1回は中身をチェック。保存期限を確認しましょう。

日常的に食べて買い足すローリングストックで上手に備蓄

いざというときの消費期限切れを防ぐことができ、非常時もふだんと近い食生活を送ることができます。

日頃から少し多めに食品や加工品を買い置きしておく

